

平成31年4月7日  
東京都ミニバスケットボール連盟  
上阪 紘也

### 平成30年度 全国ミニバスケットボール大会 派遣報告書

大会名	第50回全国ミニバスケットボール大会
期間	平成31年3月28日(木)～3月30日(土)
会場	高崎アリーナ(群馬県高崎市)
講師	渡辺諭氏 古畑香子氏 漆間大吾氏 坂井佑季子氏

日程	時間	スケジュール
3月27日(水)	17:15	受付
	17:50	インテグリティ説明会
	18:15	審判会議
3月28日(木)	8:30	受付
	8:45	開講式
		座学研修 講義「2PO メカニクス」
	10:30	第1試合開始
	19:30	懇親会
3月29日(金)	7:45	受付
	9:00	第1試合開始
	17:00	映像研修
	18:30	閉講式

講義
座学研修 講義「2PO メカニクス」 講師 漆間大吾氏
◎大会を通して大切にしてほしいこと
・Proactive・・・積極的に
・No excuse・・・言い訳をしない
・Tell it like it is・・・思ったことは伝える
・Respect each other・・・互いに尊敬し合いながら取り組む
◎レフリーとして
・進化することを止めない
→今,ルールやメカニクスなど色々なことが変わってきている。レフリーとして変化に気付いて進化していかななくてはならない。

◎四原則から IOT へ

四原則は無くなったというわけではなく、本質的な変わりはない。それぞれ最新の技術に形を進化させている。

- ・オールウェイズムービング→Stationary & Distance
- ・スペースウォッチング→Referee the defense
- ・ペネトレーション→Stay with the play
- ・ボクシングイン→Knowing a 2PO

◎試合に臨むにあたって

・我々レフリーの立ち戻る場所は、ルール、インタープリテーション、ガイドライン、メカニクス（マニュアル）である。

パートナーのことを信頼していることが重要。

・Active mind set→崩れそうとき、崩れた時の切り替えをしっかりとる。方法は人それぞれ。自分に合っていることを行う。

◎信頼されるレフリー

・Strong・・・強さ ・Decisive・・・決断力 ・Approachable・・・親しみやすさ 他競技のレフリーの姿から学ぶことも多い。

◎ 2 PO メカニクス

・ 2 PO において最も重要なことは“Create open angle”

→見えないもの（場所）をなくすために積極的に足を運んで確認をしに行く。経験や感情に頼らずに。

・目的をもってポジションアジャストをしていく。

・エリア 3 への対応が難しい。エリア 3 でトラップが起きた際には基本的にトレイルが足を運んで確認しに行く。この時ミドルラインは越さない。フロアバランスを見てリードは広がるか広がらないか決める。→プレゲームカンファレンスですり合わせしておく。

・リードは必要があれば右に行つて（Switch side）しても構わない。ただし、様々な状況を考慮して、合理的理由をもって動く。

→右に行つた際のトレイルのポジション等についてはプレゲームカンファレンスで話しておく。

・ベーシックの共通理解をした上で、イレギュラーに対しては 2 人で協力して対処していく。

担当試合①			
カード	CC/U	パートナー	主任
【女子】 佐賀県—愛媛県	U	CC：鈴木 里美 氏 (福島県)	苗村 幸弘 氏 (滋賀県)
ミーティング内容			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンな試合に判定もマッチしていた。</li> <li>・選手の出血した際、ベンチには状況が伝わっていたが、会場全体には伝わっていない。</li> </ul> <p>→明確にレフリータイムであることを知らせる。</p>			
担当試合①			
カード	CC/U	パートナー	主任
【男子】 北海道—徳島県	U	CC：山本 皓貴 氏 (山口県)	鈴木 里美 氏 (福島県)
ミーティング内容			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Q 開始時の 2 人のポジション取りとプレーに応じた動き方について事前に共通理解しておくべきであった。</li> <li>・アウトオブバウンズに関して 2 人の協力ができていた。</li> <li>・トレイルの時の横のアングルの判定を積極的に行う必要がある。(トレイルプライマリ)</li> </ul>			

総合所感
<p>昨年に引き続き、本大会に派遣の機会をいただきました。優勝を決めない交歓大会という形式ながら、全国から予選を勝ち抜いてきたチーム同士の試合ということで、どの試合も非常にレベルの高い白熱したものでした。また、本大会は JBA の「暴力暴言根絶」の取り組みが先行実施されるということで、レフリーとして今後どのようにバスケットボールに関わっていくかを知る貴重な機会となりました。</p> <p>今大会に参加して経験したこと、学んだことを今後の自身の審判活動に活かしていくことはもちろん、所属ブロックや所属連盟の皆様伝えて参りたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、本大会への派遣にあたり推薦いただきました平原審判委員長をはじめ、日頃よりご指導いただいている東京都バスケットボール協会、東京都ミニバスケットボール連盟の皆様感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>